

# 環境学習みえ

2010年12月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行  
表紙の人／栄養教諭 森永 孝子 先生（伊賀市立 府中小学校）2010 No.43

冬



食と環境④

## 学校と地産地消

こどもエコクラブ  
センターニュース  
・今月の企画展示  
・講座のご案内ほか

地産地消の取組みで出会った子どもたちと生産者の絆が、地域の食料自給率アップにつながっています。

伊賀市立府ふつ中小学校 栄養教諭  
森永 孝子さん

食と環境④

## 学校と地産地消

「地産地消」とは、地域で作られたものをその地域で消費することをいいます。今回は、学校と生産者の間に立つコーディネーターの視点を通して、小学校と地域との地産地消の取組みを紹介します。

地域の食材を使って調理しよう！



自分の作った伊賀米を食べよう！



「伊賀米を使ったお寿司作り」  
田中 さん

# 地産地消 学校給食献立

府中小学校の校区内では、米、麦、野菜などたくさんの農作物が作られています。その地域の農作物を取り入れた学校給食は、平成21年度 農林水産省「地産地消給食等メニューコンテスト」で生産局長賞を受賞しました。

伊賀の郷土料理である「豆腐田楽」。四方を山地に囲まれた伊賀地域では、「畑の肉」と呼ばれ、貴重なたんぱく源である大豆が多く作られていました。

### 菜花の金ごま和え

菜花：校区内提携農園  
金ごま：伊賀産

### 二色豆腐田楽

豆腐：伊賀産  
味噌：伊賀産  
伊賀産大豆「フクユタカ」使用

### 伊賀産りんご



### 三重県産牛乳

麦飯  
伊賀米コシヒカリ  
麦

### 伊賀のかす汁

豚肉：三重県産  
酒かす：校区内の酒蔵  
さといも・しいたけ・ごぼう・人参：  
校区内提携農家  
大根：学級園

## 学校と生産者をつなぐ 地産地消のコーディネーター

森永先生は府中小学校へ赴任して5年目の栄養教諭です。栄養教諭とは、平成17年4月に開始された制度で「食に関する指導と学校給食の管理」を職務としています。

文部科学省「食育推進基本計画」では、学校給食における地場産物を使用する割合を平成22年度までに30%以上とする目標が掲げられています。

府中小学校の給食で使用されていた野菜は、冬の場合、ほぼ100%近くが地域で収穫されたものだそうです。森永先生は生産者の農園へ出向いて、生産状況を把握し、その季節の旬の農作物を取り入れた献立を作成していました。

森永先生「地産地消を取り入れた学校給食が可能なのは、伊賀が地場産物に恵まれた地域であるから」  
地産地消の給食にしたことで、子どもたちは地域を知り、人に感謝し、以前に比べて食べ残しが少なくなってきたといいます。



学校へ新鮮な農作物を納入していたのは、「JAいがほくぶの女性生産者グループ「わたしら仕事 she」のみなさんです。前列中央が藤林勢津子さん。

「わたしら仕事 she」の藤林さんの農園ではほうれん草、小松菜などの葉物の野菜が中心に生産されています。藤林さん「露地栽培は天候などに左右されやすく、予定日に納入することが難しくなることもあります」

児童・職員約240人分の学校給食の為に使用する農作物を安定供給することは簡単なことではありません。生産者の状況を理解し、臨機応変に森永先生が給食の献立を変更することもありました。

「地域で作られたものを地域で消費する」ここでは森永先生が学校と生産者をつなぐコーディネーターの役割をされていて、お互いの信頼関係によって、この地域での「地産地消」は成り立っています。

# 生産の過程を知ると、 見えないエネルギーが見えてくる？



## 小麦粉ができるまで

校区内にある藤林さんの畑で、子どもたちが「タマイズミ」という伊賀地域で多く作られている麦を育てました。収穫した麦はひいて小麦粉にし、子どもたちと地域の生産者が一緒になって「うどん作り」に挑戦しました。

### 1 タネまき



11月

土を耕して、種と肥料をまきます。麦作りスタート！

### 2 麦踏み



1月

麦の芽を足で踏んでいく作業。耐寒性を高め、穂数を増やす効果があります。

ヨイショ  
ヨイショ

### 3 麦刈り



6月

かまを使って、刈るのって大変だね。

麦踏みで根が丈夫になるんだよ。



### 4 麦ひき



9月

石うすを使って、砕いてすり潰して粉にします。さらにふるいにかけて細かくしたら…

### 5 うどん作り



10月

小麦粉に塩水を少しずつ加えてしっかりこねます。

おいしいね～！



一生懸命作ったうどんは、持ち帰ってお家の人にも食べてもらおうね。



さらさらで真っ白な小麦粉のできあがり！





# こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



## 椿小学校4年生(鈴鹿市)

・会員数33名 ・サポーター数1名 ・クラブの構成 小学校のクラス ・代表サポーターの六田先生に聞きました

### いつどのようにできたのですか？

2010年4月、4年生の社会科で「ごみ」の学習をすることをきっかけに、クラス全員で環境について考えていこうということになり、こどもエコクラブに登録しました。

### どのような活動をしていますか？

社会科や総合的な学習の時間などを活用して、身近なところでエコにつながることはないか探しながら学習しています。

社会科の授業では、市の環境政策課の方をお願いして実際に収集車がゴミを集めている様子を見学させていただいたり、教室でゴミ処理の具体的な方法やゴミ減量の大切さなどについてお話を伺ったりしました。

総合の時間には、自分の部屋や引き出しの中で要らなくなったものや使わなくなったもの(ゴミとして捨てようと思っているもの)を持ち寄り、友達が持ってきたもので自分がほしい(使う)ものをもらっていく「エコ・マーケット」を開きました。その結果、ほとんどの「商品」が誰かの手に渡り、自分がゴミだと思っていたものをクラスの誰かが「リユース」することで結果としてゴミを減らすことができたことになり、子ども達は大変満足した様子でした。



写真①エコ・マーケット

栄養教諭の先生による食育の時間には、「エコ・クッキング」に取り組みました。食べ物(材料)を買う時、調理する時、食べる時、後片づけをする時…それぞれの場面で環境にやさしい方法があることを知り、とても有意義な授業でした。



写真②エコ・クッキング

他に、図書時間に市の巡回指導員の方に「環境」をテーマにした本の紹介をしていただいたり読んでもらったり、自分たちでも「エコ」に関する本を選んで読んだりするなどして、いろいろな教科領域で環境に関わる学習をできるかぎり取り入れるようにしています。

三重県環境学習情報センターには、社会見学で出かけたり、センターの職員さんに学校まで来ていただいて「買い物ゲーム」や「水質チェック」の出前授業をしていただくなどして、「近さ」を最大限に生かした利用をさせていただいています。

### どのようなことを子どもに伝えたいですか？

「地球温暖化を防止するために」「生物多様性のバランスを守る」…と大上段に構えるのではなく、子ども達が将来大人になった時、自分にできる「エコ活動」を自分なりに見つけて仲間を増やしながら行動できるように、いつまでも環境に対する興味関心を持ち続けてほしいと思います。



写真③4年生全員

こども  
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。

●入会費・登録費無料 ●お問い合わせは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブ  
イメージキャラクター「エコまる」  
<http://www.ecoclub.go.jp>

## こどもエコクラブ県内交流会2010を開催 <11月28日>



今年度の会場となった大阪市立伊賀青少年野外活動センターには、県内各地から7クラブが集結。活動発表では、普段の活動の様子やその体験から感じたことを、どのクラブも自信を持って発表していました。体験学習では、焼き板クラフトを行いました。焼いた杉板のコゲを水で落として磨いていくと、きれいな木目が浮か

びあがります。子どもたちはモミの木や雪を描いて、クリスマスにぴったりな壁掛けを作っていました。

他のクラブの活動を知ったり、交流を深めたりすることで、自分たちのクラブの活動もより一層磨いていってほしいと思います。



環境活動のPRができる!

## 今月の企画展示

9~11月



9月

### ICETT (アイセツ) 国際環境技術移転研究センター

ICETTは世界の国々や人々が協力して、地球を守っていけるように日本が持っている「環境を守る技術や方法」を教えています。  
<研修><研究><調査><広報>などに分けて詳しくパネル展示していただきました。世界の人々が手をつなぎ、きれいな地球を守っていくことの提唱を行っています。



10月

### 三重大学伊賀研究拠点

2009年4月に伊賀市文化都市協会が建設した「ゆめテクノ伊賀」(産学官連携地域産業創造センター)内に開設されました。研究分野は主にバイオテクノロジーとエコテクノロジーですが、今後その他の分野の参入も見込まれています。  
エネルギー危機の不安から少しでも明るい方向へと向かうよう研究されています。



11月

### 四日市再生「公害市民塾」

公害問題の解決と四日市公害によって被害を受けた人々の思いや体験を伝えることを目的として設立されました。四日市公害のような過ちを、二度と繰り返さないよう、公害学習や資料の活用・継承を進めていく必要があります。  
毎年、小学校の公害学習では、数百名の子どもたちに四日市公害の教訓を伝えています。  
そんな長年の活動が認められてH21年度みえ環境活動賞を受賞されました。



## ようこそ!&訪問しました

10~11月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

### 環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校

四日市	四郷小学校(4年)、桜小学校(4年)	亀山	神辺小学校(5年)、井田川小学校(4年)
鈴鹿	河曲小学校(4年)	名張	比奈知小学校(4年)、梅が丘小学校(4年)
津	片田小学校(4年)、榊原小学校(5年)、神戸小学校(4年)、西が丘小学校(4年)、白塚小学校(4年)、南立誠小学校(4年)、豊津小学校(4年)、上野小学校(4年)、藤水小学校(4年)	京都	久世西小学校(5年)
東員	笹尾東小学校(4年)、笹尾西小学校(2年)、神田小学校(4年)、笹尾西小学校(1年)、稲部小学校(4年)	環境学習情報センターが訪問した小・中学校	
桑名	大成小学校(1年)、大山田南小学校(4年)	四日市	常磐西小学校(1~6年)、羽津小学校(5年)
川越	川越南小学校(4年)	鈴鹿	深井沢小学校(1・2年)、椿小学校(4年)
菟野	菟野小学校(4年)	津	三重大学教育学部附属小学校(4年)、藤水小学校(4年)、安東小学校(6年)、高宮小学校(4年)
		亀山	井田川小学校(4年)
		松阪	松江小学校(5・6年)



# 環境学習情報センターの講座情報 講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

**PICK UP** 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合

地域NPOの場合

自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。

メンバーのレベルアップにご利用ください。

市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

講座名	開催日	開催場所	申込締切	内容
こども環境講座 <b>対象:こども・保護者</b> エコ・クッキング	1/23(日) 10:00～13:00	四日市市日永地区 市民センター	1/14(金) 先着順	大豆はとっても環境にやさしい食物です。その大豆を使ったお料理と節分豆の残りを使う…という設定から「入り豆大福」を作ります。
スキルアップ講座 <b>対象:大人</b> 企業と環境保全	2/19(土) 14:00～16:00	サン・ワーク津	1/31(月) 抽選	ボルネオでのナショナル・トラストの経緯と取り組みなどについて、サラヤ株式会社の廣岡竜也氏にお話いただけます。
スキルアップ講座 <b>対象:大人</b> 生き物からの感染症	2/20(日) 10:00～11:30	三重県総合文化センター内 フレンテみえ	2/14(月) 先着順	近年、温暖化の影響もあり生き物の分布が変わりつつあります。それにより、今まで身近に無かった様な感染症にかかる可能性があります。今後、屋外に出て活動する時の感染症への注意点等、インフルエンザも含めて話していただきます。
スキルアップ講座 <b>対象:大人</b> 里山景観の魅力について考える	2/20(日) 13:30～16:00	三重県総合文化センター内 フレンテみえ	2/14(月) 先着順	景観と風景の違い、人が美しいと感じる森林の要素など、造園学の視点から里山景観の魅力について東京大学大学院農学生命科学研究科の山本清龍氏にお話いただけます。
スキルアップ講座 <b>対象:大人</b> ピオトープの使い方と可能性	2/27(日) 13:30～16:00	三重県上野森林公園	2/10(木) 抽選	身近にうまく使えていないピオトープはありませんか?「こう考えればうまくいく!!」学校・地域での使い方を発見しましょう。
スキルアップ講座 <b>対象:大人</b> 「海藻おしば」で海のことを伝えよう	3/13(日) 13:30～15:30	環境学習情報センター	2/27(日) 抽選	「海藻おしば」の作り方と、「海藻おしば」作りを通じて、どんなことが伝えられるのか、などについて研修します。

## センターへの来館・出前講座などで使える **環境講座**

PICK UP

### 星たまごプラネタリウム



対象: 幼児・小学生以上・大人(1回20人まで)  
時間: 30分～1時間30分

最近、日本が誇る技術を使った人工衛星やプラネタリウムで天文ブームといわれていますが、実際に星空を見上げたことはありますか? 小さいドームの中で会話をしながら進めていくプラネタリウムです。なぜ、星が見にくくなっているのか、星空を見ることの大切さに気づいていただくプログラムです。また、星空講座・光害講座などと組み合わせることもできます。

#### まだある! 環境講座

水質チェック、大気調査講座、自然体験、ごみ・リサイクル講座、買い物ゲーム、水生生物調査、環境を考える消費者講座、エコソング「うたおう&おどろう」、地球温暖化防止と省エネルギー

学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境講座」をご利用下さい。各講座ともセンターでの開催、各地に出前での開催が可能です。講座内容につきましては、ご希望に合わせ相談させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

※原則として、希望日の1カ月前までにご連絡ください。出前講座については使用する消耗品のご準備をお願いしています。



#### リニューアル工事 のお知らせ

センター内展示ホールは、1月17日(月)～2月28日(月)までの期間、リニューアル工事の為、ご利用できませんのでご了承ください。

## 三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11(地番変更しました。郵便はこちらまで)

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
開館日	1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



講座予定

環境講座